

平成三十年度

浦田定期能 第四回



自然居士
三笑

深野 貴彦
浦田 保浩

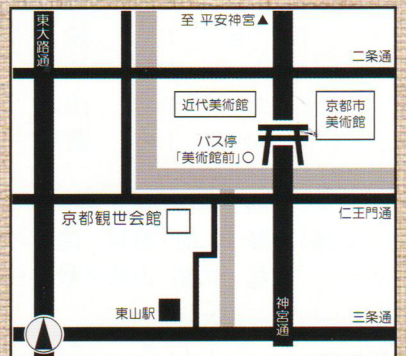
日 時：平成30年 12月 8日(土)

正午開演 (11時20分開場)

於：京都観世会館 (京都市左京区岡崎円勝寺町44)

入場券：前売券 ¥3,500
当日券 ¥4,000
学生券 ¥2,000 (全席自由席)

- ◆市バス5・27系統「美術館前」下車
- ◆市バス46・31・201・203系統「東山仁王門」下車
- ◆地下鉄「東山」駅下車、徒歩約5分
- ◆会館東隣(三)駐車場あり



お問合わせ：浦田定期能楽会 ☎(075)723-6850
京都観世会館 ☎(075)771-6114

主催：浦田定期能楽会

第四回 浦田定期能公演

平成30年 12月 8日(土)

12:00

解説「本日の曲目について」京都府立大学教授 山崎 福之

12:30

能 「自然居士」

自然居士	深野 貴彦
女児	深野 百花
人商人	福王 和幸
人商人同輩	喜多 雅人
雲居寺門前の者	小笠原 匡
(笛)	齊藤 敦
(小鼓)	林 吉兵衛
(大鼓)	山本 寿弥

(後見)深野新次郎・大江 広祐

(地謡)越賀 隆之・吉浪 壽晃・浅井 通昭・吉田 篤史
宮本 茂樹・山崎美紗子・鷺尾世志子・山崎 浩之

— 休憩 15分 —

狂言「酔 薑」

酔 売 り	小笠原 匡
薑 売 り	山本 豪一
(後 見)	泉 慎也

仕舞	柏 崎 道行	大江又三郎
	山 姥 キリ	杉浦 豊彦

(地謡)小野 朗・浦部 幸裕・大江 泰正・田中 隆夫

— 休憩 15分 —

15:00 頃

能 「三 笑」

慧 遠 禅 師	浦田 保浩
陶 淵 明	浦田 保親
陸 修 静	浦田 親良
能 力	山本 豪一
(笛)	杉 市和
(小鼓)	林 大輝
(大鼓)	山本 哲也
(太鼓)	前川 光長

(後見)杉浦 豊彦・深野新次郎

(地謡)小野 朗・越賀 隆之・浦部 幸裕・大江 泰正
大江 広祐・山崎美紗子・田中 隆夫・山崎 浩之

附祝言

終了予定 16:00頃

能 自然居士 (じねんこじ)

自然居士とは、芸能にも秀でた説経者として伝えられた禅僧の名。剃髪(ていはつ)前の青年(喝食・かつしき)が少女を人商人(ひとあきびと)から救おうと芸尽くしを見せる能で、緊迫したやりとりの続く劇的な場面の後に、遊狂の舞がくりひろげられる。観阿弥の原作を、世阿弥が改作したもの。

京都東山の雲居寺(うんごじ)で七日の勧進(かんじん)説法をする居士のもとに、親の供養のために身売りをした小袖(身の代衣(みのしろごろも))を供える少女が現われる。居士は少女の捧げた願文(がんもん)を読み上げ、そのけなげな心に涙するが、そこへ人商人たちが少女を追って来て連れ去ってしまう。

居士は説法を打ち切り小袖を首に掛けて人商人たちの後を追いかけて、琵琶湖畔の渡し場で追いつく。小袖を投げ返し、船端に取りついて引き留めてみると、少女は縛られ猿轡(さるぐつわ)をはめられた哀れな姿であった。居士は何としても連れ帰ろうと、人商人と口説で渡り合い、拷問にあおうとも命をとられようとも絶対に降りないと言って、船の中に座り込む。

人商人たちはやむなく少女を返すが、その前に居士に恥をかかせてやろうとたくらみ、舞を見せてほしいと言う。居士はそのたくらみを知りつつ、まず「中ノ舞」を、続いて船の謂(い)われを讀える「クセ舞」を舞う。また数珠と扇で簾(ささら)の舞の様を見せ、もはや返してほしいと懇願する。さらに腰に羯鼓(かつこ)をつけて舞い、ようやく少女を救ったのである。

能 三 笑 (さんしょう)

中国・東晋(316～419)の僧、慧遠(えおん)禅師は廬山(ろさん)の麓に庵を結び、白蓮(びやくれん)を堂の前に植え阿弥陀仏に念仏を唱える修行を行っていた(慧遠の一派は白蓮社と言われ、後に浄土教として発展した)。

ある時、陶淵明(とうえんめい)と陸修静(りくしゅうせい)の二人が訪ねてきた。かねてから親しく交わる友人として招き入れ、廬山の景観、瀑布の流れを眺めては酒を酌み交わして心楽しく語り過ごす。そして興にのった三人は相舞をして【楽】、ますます隠逸の世界に浸る。やがて酔いのままに二人とともに見送りに庵を出た慧遠は、禁足のはずの虎溪(こけい)から出てしまい、二人に言われて思わず三人ともに大笑したのである。

陶淵明は「帰りなんいざや」(『帰去来兮辞(ききょらいのじ)』)などで知られる隠遁の詩人であり、陸修静は道教の大家である。この「虎溪三笑」の故事は隠逸思想の広がりとともに五世紀の『廬山記』や『述異記(じゆついき)』など、著名な逸話を紹介する文献に載せられて流布するとともに、後世広く画題となり、日本にも伝えられて雪舟らが多くの作品を残した。

※ 事務局で許可した以外の方の写真・ビデオ撮影・録音はお断り致します。

※ 場内では携帯電話等の電源はお切りください。

※ 車でお越しの方は、京都観世会館東隣の有料駐車場をご利用ください。満車の場合は平安神宮前の市営有料駐車場をご利用ください。

主催 浦田定期能楽会

【次回予告】平成 31年 3月 16日(土)

素謡「弱法師」 浦田 保親

能「西行桜」 浦田 保浩